

社会資本整備審議会 環境部会 中間とりまとめ」概要

— 社会資本整備分野における地球温暖化対策 —

地球温暖化問題

地球温暖化問題の特徴

- ①原因の日常性、原因者の偏在性
- ②影響の潜在的深刻性

温室効果ガス排出状況

- ・2002年度の温室効果ガス
13億3,100万t
(前年度比+2.2%)
- ・基準年 原則1990年)比
+7.6%



京都議定書の6%削減約束
の達成には多くの課題

今後の対策の検討の視点

1 各主体への的確な 動機付け

2 国民経済的観点から の最適な施策の選択

3 あらゆる協働の結集

- ①国民各層、各主体との連携と協働
- ②フローとストック、ソフトとハードの協働
- ③短期施策と長期施策との協働
- ④施策目的の協働

4 環境に対する感度の 高い市場の整備

5 施策の集中投入による トップランナーとしての モデル地域の育成

今後の対策 施策の方向

住宅・建築物 民生部門)

- ①新築対策の推進
- ②ストック対策の強化
- ③ライフサイクル全体を視野に入れた施策の推進等
- ④官庁施設における率先的な取組

交通流対策等 運輸部門)

- ①環境負荷の少ない道路利用への転換
- ②先導的地域への支援
- ③交通行動の変更を促す施策の促進

下水道分野における対策

- ①下水道分野における総合的な温暖化対策の推進
- ②下水汚泥の高温燃焼の促進（酸化二窒素の排出削減対策）

都市緑化対策

- ①都市緑化の総合的な推進
- ②吸収源対策としての都市緑化対策
- ③都市緑化による地球温暖化防止活動の普及啓発等の推進

その他の対策

- ①建設副産物小口巡回回収システムの構築
- ②建設施工分野における地球温暖化対策